
2025年
日本テーブルサッカー協会
総会
2025.02.24

13:30 開始
時間まで少々お待ちください。



2025年 総会資料



Japan Table Soccer Federation
日本テーブルサッカー協会

Version.01



1. 開会の辞

• 総会の開会を宣言

本日は振替祭日にも関わらず、日本テーブルサッカー協会の総会に参加いただき御礼申し上げます。ただ今より日本テーブルサッカー協会の総会を開会いたします。



2. 会長挨拶

2019年末から2021年まで世界中を混乱し日本にも大きな経済的、社会的な損害をもたらしたCovid19(通称コロナ)の影響で、JT S Fも大きな打撃を受けて大会開催などのイベントを含めた活動中止を余儀なくされました。

その影響から、苦境の時代の中で翻弄されていた小林充4代目会長の辞任という事態になりました。旧体制のスタッフの皆様お疲れ様でございました、また有り難うございました。その後小林会長より引き継ぎ承認されて2022年12月12日に5代目の会長に私が就任させていただき現在に至ります。

2022年から現在まで立て直し及び協会としての通常な活動を目指し、また新規召集させていただきました関係者の努力により現在に至ります。

本日の総会では2022年12月に就任してからの活動報告と今後の目的、計画案などを説明させていただきたいと思っておりますので宜しくお願いいたします。

日本テーブルサッカー協会
会長+代表
植野 穰



3. 議題確認

1. 開会の辞
2. 会長挨拶
3. 議題確認
4. 活動計画と現状
5. 前回総会の議事内容の確認
6. 2023-24年度活動報告
7. 2023-24年度 財務報告・会計報告
8. 役員の紹介
9. 制度について
10. 2025年度 活動計画および予算計画
11. その他の重要事項
12. 質疑応答・意見交換
13. 閉会の辞



3. 活動分類と具体的な内容(1)

	活動のセグメンテーション	具体的な活動
1	全国的各種選手権、競技及びイベントの開催又は後援	Japan Openの開催、関東、関西、東北、東海、などのランク別大会開催復活 開催協力店舗、スポンサー獲得する
2	テーブルサッカーに関する規則・制定の策定	競技規則もさることながら、協会運営規則つまり総会の定義、役員任期、日本代表選手の権利義務などを決定する
3	テーブルサッカー用具の規則上の適否の審査	テーブル、クラブ、ハンドルテープ、ウェアなどの基準を作り、認定し、スポンサーをつける
4	プレイヤーのランキング制度認定・普及、代表選手選出	日本ランキングの制定、普及、代表選手選出の基準を作る
5	テーブルサッカーによる社会貢献・福祉活動	学校、市町村などに対する社会貢献活動 現状の活動をそのまま生かす
6	テーブルサッカー選手の発掘、育成、強化及び助成	新規プレイヤーの開拓、教育、ルーキー大会、リーグ戦、チーム戦、クラブ対抗戦の実施 代表プレイヤーの強化合宿開催 など

赤字が実行できている項目
黒字が未達成の項目

4. 活動計画と現状 2

4. 活動分類と具体的な内容(2)

	活動のセグメンテーション	具体的な活動
7	テーブルサッカー指導者、審判の養成及び資質の向上	日本のレベル、質を上げるために指導者、審判の育成を海外遠征などで実行する
8	国際交流の推進	Japan OpenなどのITSF認定国際大会を日本で開催しうる体制を整え、また日本からも海外に出ているような仕組みを作る メディア、スポンサー、プロモーション
9	テーブルサッカーの普及啓発に関する広報活動の実施	テレビ、新聞、雑誌、SNS、などのマスメディア、デジタルメディアへの積極的な露出を試み、普及、スポンサー獲得する
10	テーブルサッカーに関する資料の収集、保管及び展示アーカイブシステム構築	過去の記録、対戦成績、写真、動画などのアーカイブタンクを設けて、永久的に記録を保存し、いつでも提示できるシステムを構築
11	その他目的を達成するために必要な事業、認定活動	テーブルサッカーを普及するためのあらゆる活動と、認定活動、ITSF認定、JOC、WG、WADA、NPO認定、JFA、など

赤字が実行できている項目
黒字が未達成の項目



4. 活動計画と現状 3

直近の予定



中長期ビジョン(2023-2026)



赤字が実行できている項目
黒字が未達成の項目



4. 活動計画と現状 4

・国際テーブルサッカー連盟 (ITSF) との連携状況

- ・ 現在、植野はITSFのエクゼクティブメンバーでもあるために国際動向をいち早く理解し見据えながら日本の動きを舵取りすることができます。このポジションを有効的に活用して、ITSFとアジア、JTSFの発展のために貢献したいと思います。
- ・ JFA訪問 (ITSF Farid会長、植野)
- ・ ITSFの動画を共有してJFAで公開予定2月末??
- ・ パラスポーツネットワーク訪問 (ITSF Farid会長、植野)
 - ・ デスエーブル競技への参画の検討
- ・ 100 tableの可能性 (国内の小学校へのアプローチ)
- ・ Coralへの移行について
 - ・ ITSFが去年から移行している Coralに移行します。
 - ・ ITSFに登録の方+過去2年JTSFの大会に出場された方はすでに登録されてます。
 - ・ クラブ制の導入 (世界クラブチャンピオンシップへの道)
 - ・ 日本、地区ブロック、都道府県、クラブへの登録
 - ・ 運営面で大幅に効率が良くなる。
 - ・ Kickerの機能が入る
 - ・ 同時に結果がITSFに自動登録される
 - ・ ランキングも同時に可能 (世界、日本、地域、クラブ)
 - ・ エリア管理

アジアテーブルサッカーアライアンス (ATSA) との連携状況

- ・ 現在プロモーターオーガナイザーのポジション
- ・ 引き続き連携をとり、ITSFとの関係性も改善予定



4. 活動計画と現状 5

• 主要な課題や目標の共有

- 先ほどの計画案との比較を見ていただいておりますが、一番大きな課題は、**人員不足**であると考えます。この場をお借りして協会メンバーとして、日本のテーブルサッカーのスポーツ認知、大会の企画運営、こども達育成プログラム、撮影編集、企画書作成、バックオフィス業務、スポンサー獲得などの、サポートメンバー並びにスポンサーを募集いたします。

現在は関係者全員ボランティア活動ですが、いずれ協会運営が安定した暁には業務として対応できるよう努力してまいります。

- 次にメインスポンサーになりうる、**テーブル代理店会社の不在**が課題です。

現在正式なITSF認定テーブルの輸入は個人の直接輸入に頼らず負えない状況です。

どこかの輸入会社でテーブルを取り扱っていただけるように希望するとともに、

協会としても貢献できるように組織を構築したいと思います。

- 安価な一般使用、購入が可能な**テーブルがない**(一般テーブルの推奨、協会としての認定)



5. 前回総会の議事内容の確認

旧体制から、総会議事録並びに経理報告の引き継ぎがありませんでした。
そのような書類は存在していないとのこと。
よって確認できませんのでこの議題は割愛します。



6. 2023-24年度活動報告

・国内大会・広報イベント活動報告

＜国内大会開催実績報告＞ スポーツ局担当：兼任・植野会長

2023年

6月 関西オープン大会

11月 東海オープン大会

2024年

5月 関西オープン大会

9月 東海オープン大会

11月 ジャパンオープン大会

＜国際大会への日本選手参加状況＞ スポーツ局担当：兼任・植野会長

- 2024年 台湾オープン、香港オープン(プレーヤー自主参加)
- 2025年 台湾オープン、ITSF World Cup/World Championship
- 2025@Zaragoza, Spain



6. 2023-24年度活動報告

<広報活動報告>

(1)広報チーム活動

①SNS・WEBなどでの情報発信

公式HP、Instagram、Facebook にて協会からのお知らせ案内、
大会レポートや結果報告などを中心に運営

②マスコミ媒体社に対する広報活動

③イベントなどによるテーブルサッカー認知拡大活動

(2)マスコミ媒体社に対する広報活動

大会開催情報を中心に協会のトピックなどをマスコミ媒体社へのメディアリリースを発行送付

【メディアリリース送付実績(のべ数)】

<新聞(一般紙・スポーツ紙)・テレビ局>

2023年 49媒体社

2024年 29媒体社

【メディア掲載実績】

2023年8月5日 毎日新聞朝刊 大阪市内版 6段1/2

2024年8月23日 関西テレビ「よ〜いドン！」となりの人間国宝さん

2024年9月6日 フジテレビ「めざましテレビ」キラビト

2024年9月8日 中日新聞朝刊 三河総合版 3段½



7. 2023-24年度 財務報告・会計報告

<財務報告>

2023年度経理報告			
収入		支出	
関西OPEN(6.23-6.25)	エントリー数 43名		
エントリー料、登録料等の入金	¥237 500	賞金等の出金	¥190 780
東海OPEN(11.10-11.12)	エントリー数 44名		
エントリー料、登録料等の入金	¥257 000	賞金等の出金	¥231 611
前協会会長より引継	¥111 324	ITSF年間登録料	¥41 128
貸し出し料	¥20 000	ITSF登録料 関西OPEN	¥22 238
		ITSF登録料 東海OPEN	¥19 320
		事務消耗品費	¥15 620
		消耗品費	¥0
		通信費	¥10 591
		人件費	¥0
		旅費交通費	¥0
		支払手数料	¥110
計	¥625 824	計	¥531 398
		2023年度末 残高	¥94 426



7. 2023-24年度 財務報告・会計報告

<財務報告>

2024年度経理報告			
収入		支出	
関西OPEN(5.10-5.12)	エントリー数 43名		
エントリー料、登録料等の入金	¥318 300	賞金等の出金	¥261 248
東海OPEN(9.6-9.8)	エントリー数 54名		
エントリー料、登録料等の入金	¥339 500	賞金等の出金	¥250 830
Japan OPEN(11.14-11.16)	エントリー数 64名		
エントリー料、登録料等の入金	¥671 000	賞金等の出金	¥543 318
前年度より引継	¥94 426	ITSF年間登録料	¥47 650
リース料	¥189 400	ITSF登録料 関西OPEN	¥24 647
福利厚生費	¥6 600	ITSF登録料 東海OPEN	¥24 329
		ITSF登録料 Japan OPEN	¥48 564
		事務消耗品費	¥0
		消耗品費	¥50 615
		通信費	¥42 643
		人件費	¥0
		スタッフポロシャツ	¥29 534
		旅費交通費	¥1 000
		支払手数料	¥550
植野会長立替払い	¥249 573	植野会長立替払い返金	¥199 973
計	¥1 868 799	計	¥1 524 901
		2024年度末 残高	¥343 898



8. 役員の紹介

•現在の組織体制を説明紹介いたします 広報担当:雑賀

- 会長代表 植野穰
- 事務広報局長 雑賀友紀
- 会計財務局長 植田理恵
- WEB-IT担当 北爪寛子
- デザイングラフィック担当 須田麻美
- 記録、普及活動担当 稲上裕仁
- スポーツ局長 不在(植野穰 兼任
(サポートメンバー 鈴木雅雄、川中健人、古澤駿)



9. 制度について

- JTSFの規約や運営ルールについては素案はあるものの今後の作成していく予定です。
- 代表選手選考基準の考え方(別紙ホームページ参照)
- 国内ランキングの考え方(別紙ホームページ参照)



10. 2025年度 活動計画および予算計画 1

•大会開催、参加:

- 台湾オープン参戦(個人有志参加) 3月
- 関西オープン(主催) 5月
- ITSF World Cup/World Championship 2025(参戦)6月
- 東海オープン(主催) 8-9月
- Japan Open 2025(主催) 11月

•ITSF World Cup/World Championship 2025 @Zaragoza, Spain

• Coralソフトへの変換

- ITSFが去年から移行している Coralに移行します。
- すでにITSFに登録の方、過去2年JTJSFの大会に出場された方はすでに登録されています。
- クラブ制の導入(世界クラブチャンピオンシップへの道)
- 運営面で大幅に効率が良くなる。
 - Kickerの機能が入る
 - 同時に結果がITSFに自動登録される
 - ランキングも同時に可能(世界、日本、地域、クラブ)
 - エリア管理

• 日本代表チームの強化方針

- 日本代表のプロフィールホームページでの公開
- プレス発表(各メディア)
- スポンサー獲得活動



日本代表チームの強化方針

- ・日本代表のプロフィールホームページでの公開
- ・プレス発表(各メディア)
- ・スポンサー獲得活動

普及・育成活動の計画

- ・大学との連携(大阪商業大学でのレクチャー、第一回大学大会の開催2/20、第二回6月予定)
- ・ジュニア育成プロジェクト(JFAとの連携)
- ・企業、社会人クラブ(社会人ビギナーリーグ、チーム対抗戦)

マーケティング・スポンサーシップ戦略

- ・JFAとの連携を模索中、体験会からの発展。
- ・ITSFプロモーション動画の放映(Blue-ing)
- ・元ベルディーフロントとのアドバイス
- ・広告代理店、設備メーカー、アパレル コンタクト検討中



11. その他の重要事項

- ITSFや他国協会との国際交流・提携について
- ドーピング防止、倫理規定の確認
- テーブル・用具の標準化、設備環境の整備



12. 質疑応答・意見交換

質疑応答・意見交換

① 川中健人さん

Q: 実際大会の費用は火の車との報告がありましたが、スポンサーが獲得された場合は、そのお金はどのように使われますでしょうか？また金額の目処はありますか？

A: スポンサーから提供いただけた場合は、まだ確定しておらず検討段階ですが以下の使い方を考えております。

- ・日本代表サポート(ワールドカップなどのユニフォーム、旅費、経費 など)
- ・大会運営のサポート(大会運営、テーブル運搬、賞金、賞品、副賞 など)
- ・協会全体のサポート(組織を整備するために経費、人件費、トレーニングセンター、宣伝広告など)
- ・金額については未定ですが、協会への全体協賛として年間100万円程度を考えております。

② 山本駿康さん

Q: 日本代表の選考基準の発表はなぜ2024年初頭に(2023+2024のポイント換算される)リリースされたのでしょうか？2024年初頭であるとすでに一年すぎでポイント獲得ができにく状況で本来であれば2023年初頭にリリースされるべきではなかったのでしょうか？

A: 2022年年末に引き継ぎを受けて(旧体制全員辞任)手探りの中発足した5代目の体制ですのですぐに日本代表のルール化には手が回っておりませんでした。その件についてはお詫びいたします。日本代表の選定基準は、ワールドカップからワールドカップ間のポイントを集計する慣習が旧体制から受け継いでおり、現在もそのルールにて継承しておりますので大きな基準は変更はございません。



12. 質疑応答・意見交換

質疑応答・意見交換

③吉田博司 さん（chatにて）

Q: 今回の総会内容はアーカイブにて共有されますでしょうか？

A: 総会内容は書面で保管して、閲覧できるようにいたします。

④山本駿康 さん

Q: ITSFとATSAとの連携をとるお話がありましたが、何かありますか？

A: 現在具体的にはありません。ITSFとATSAとヒヤリングをかけております。

お互いに連携できれば素晴らしいと考えるのでその実現どうできるかを模索中です。現在連携が取れていない理由も理解していないのでその辺りも確認しつつ実現できればと考えております。

以上

貴重な質問ご意見ありがとうございました。

13. 閉会の辞

本日はお忙しい中参加いただき誠にありがとうございます。
テーブルサッカーのスポーツ認知と普及に視力を尽くしたいと思っておりますので、
引き続きご支援ご鞭撻を宜しくお願いいたします。

以上で日本テーブルサッカー協会2025総会を閉会いたします。
ありがとうございました。

